

湯沢砂防女性モニターレポート第5号

平成17年12月1日

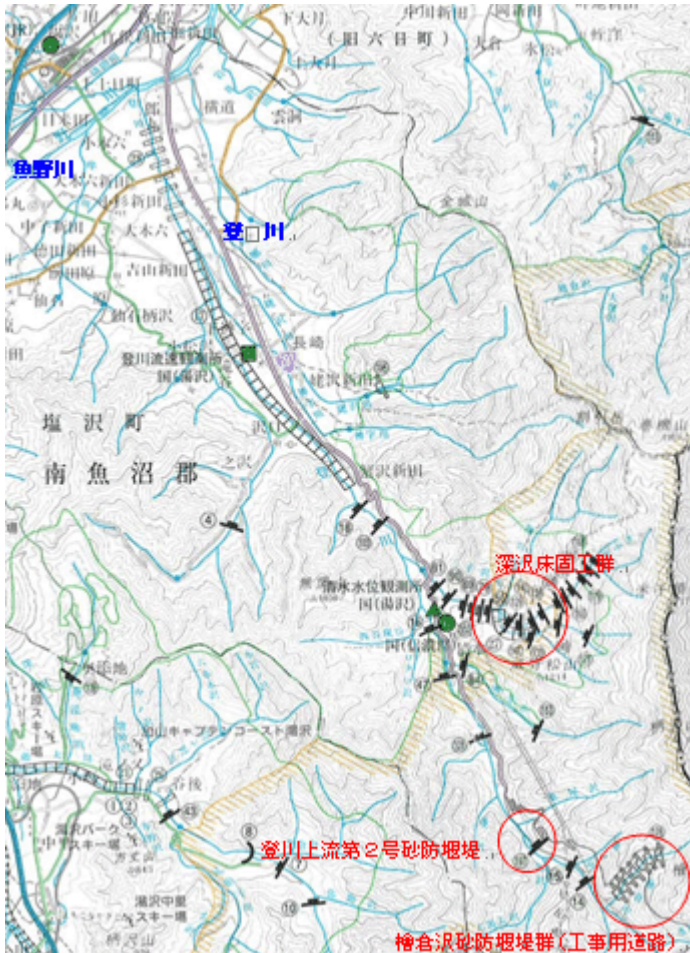
発行 湯沢砂防事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/>

湯沢砂防事務所は女性モニターの皆さんと一緒に、より良い砂防について考えています。

去る11月4日、紅葉の時期を迎えた登川流域で女性モニター見学会を行いました。今回は昨年で工事が完了した登川上流第2号砂防堰堤と、現在施工中の檜倉沢砂防堰堤群の工事用道路、深沢床固工群の工事現場の3箇所を見学しました。

<位置図>



プログラム

- 12:30 湯沢砂防事務所出発
- 13:40 登川上流2号砂防堰堤見学
- 14:10 檜倉沢砂防堰堤群
工事用道路見学
- 14:45 深沢床固工群見学
- 15:00 現場出発
- 16:10 湯沢砂防事務所着、解散

マイクロバス車内にて、
質疑応答と意見交換。

**



マイクロバス車内で見学地の説明。
天気も良く、車内からはきれいな紅葉を見ることができました。

登川上流第2号砂防堰堤

登川上流第2号砂防堰堤は鋼製セルとダブルウォールでできたオープン式砂防堰堤です。

セルとダブルウォールの中詰材として現場の掘削土砂を利用することで残土を持ち出ししない、ゼロエミッションの考えでつくられています。また、ダブルウォール部や盛土部分に緑化対策を行うなど、環境、景観への配慮がなされています。

女性モニターの皆さんは、一昨年の平成15年にも建設中の様子を見学しており、今回は完成後の状況を見学しました。



建設中の登川上流第2号砂防堰堤（平成15年9月）



奥に見えるのが完成した登川上流第2号砂防堰堤。担当の中津川出張所の福井出張所長より説明を受けました。



えん堤の天端からダブルウォールを見学。下流側には植生した牧草が育っていました。



女性モニターからなぜ円筒形が良いのか、などの質問がありました。



きれいな紅葉と砂防堰堤をバックに記念撮影

**** 女性モニターより ** (登川上流第2号砂防堰堤を見学して)**

- ・ 上田に住みながら、この堰堤は初めての見学でした。環境に配慮されて作られている説明を聞いて、とても感心しました。
- ・ 堰堤の上に立ち、その大きさに驚きました。素晴らしい景観で、もっとたくさんの方が訪れ、目にしてほしいと思いました。そして、この堰堤の必要性について、誰が見てもわかりやすい説明があるとよいと思いました。
- ・ 経費削減と自然にマッチする為の工夫、アイデアがすごいと思いました。さびている鉄も茶色で回りに合うと計算済みということで驚きました。
- ・ 材資も現地調達し、又、短期間の工期というのも良いと思います。
- ・ 土砂をつめていた場所に立ち芝草の他の野草も全部自然に出たのではなく種を選別した上で入れた細かい心遣いに又感動。こんな細かい工法を少しでも多くの人達に知ってほしいです。
- ・ 砂防ダム of 形として、初めて見る構造のものでしたので、まずは外観に驚きましたが、工法の実用的・経済性の計画的な事に感心致しました。危険性さえ払拭されれば観光資源としても生かせるのではありませんか？
- ・ 現地発生土の無駄の無い利用法は今後の砂防のみならず、道路等の大きな事業費のかかる分野で生かして行って欲しいと思います。)

檜倉沢砂防堰堤群(工専用道路)

登川上流第2号砂防堰堤からさらに上流へ続く工専用道路。これは多量の土砂を生産する檜倉沢に砂防堰堤群を建設するためつくっている道路です。法面の緑化など、環境面にも配慮しています。



檜倉沢へ続く工専用道路



休憩所から1号えん堤の施工現場を見学する女性モニターの皆さん



杉本調査課長から、登川流域の中でも檜倉沢の土砂生産は特に多いことなどの説明がありました。

****女性モニターより** (檜倉沢砂防堰堤の現場を見学して)**

- ・ 工事道路を作るだけでも10年もかかり、砂防堰堤が完成されるのがさらに10年後となれば完成の姿は見ることは出来ないけれど、こんな山深い奥で下流にある部落を守る為の工事が着々と進められている事に感動しました。
- ・ この砂防堰堤を作るために、道路を作り、それが10年かかっていると説明を受けて、費用とその工事の必要性を考えました。堰堤はこんな山奥にも必要なものなのかと。地域を守ることの重要性他、いろんなことを考えさせられる現場でした。
- ・ 登山者への心遣いで休憩所を確保したとの事。なる程と思いました。工事用の道路を作るだけで10年近く工費の約3割もかかるという事も、大変な仕事だと思いました。こんな上流から工事をしないとだめなんではしょうか？工事用道路も完成後は使用できるのは良いですね。
- ・ 険しい山肌に工事用道路を作るのに10年の歳月を要し、進まない工事と言われたとの事。現地を見て、大変さが良く分かりました。
- ・ この長期的な作業の中でお一人のケガ人や事故も無く、完成まで頑張ってくださいと思います。

深沢床固工群

土石流堆積物が分布する二子沢川の上流域には谷筋がいくつも存在し、降雨時に水がどこを流れてもおかしくない地形となっています。このため付近の集落では、たびたび浸水などの被害に見舞われていました。そこで川筋を整え、流水を安全に下流へ流すべく床固工群の整備を行っています。

深沢床固工群では床固工7基、帯工5基を建設します。今回は施工中の1号床固工と既に完成している5号、6号床固工を見学しました。



現場詰め所前で、図面を見ながら床固工の説明を聞く女性モニターの皆さん



現場代理人からは施工方法や工事の進捗状況について説明を受けました。



現在施工中の1号床固工。この状態からは完成形を想像し難いようで、モニターの皆さんからたくさんの質問が出されました。



完成している5号床固工と6号床固工(上流側)。こちらを見学すると百聞は一見に如かず。

** 女性モニターより** (深沢床固工の現場を見学して)

- ・ 最初見た工事途中の所は説明を聞いただけでは完成時のイメージがわからなかったが、完成された所を見て納得。無数の大小の岩・石が、このあばれ登川を苦しめてきたのかと思いました。完成すれば昨年自然塾で見た秋山郷のえん堤群のような感じになるのですネ。
- ・ コンクリートを打設しているところを見学して、今、作られているものを目にすることができてよかったです。その後、作りあがっているものを見て、実際に土砂の堆積を見て説明を受けると、よくわかりました。
- ・ 関係者でなければほとんど目にする事の無い工事現場ですが、想像以上の難作業で有る事が分かっただけでも今後のモニター活動のヒントになった様に思いました。
- ・ 自然災害の多い新潟県ではすべての危険箇所を整備する事は気の遠くなる様な作業ではありますが、人と自然の双方に問いかけながらの計画で有って欲しいと願います。

*** バスの中では、モニターの方から見学会の感想をいただきました。***

- ・ 2年前に登川上流第2号えん堤の建設途中を見て、どんな状態で完成するのかと思ってましたが、完成してその上に立ったという感動はモニターをしていなければ味わえないこと。
- ・ 2年前に見た堰堤が完成して、子供が育ったのを見ているような、それに近いような感慨を思いました。
- ・ 完成したところを見てみないと説明だけではなかなか分からないところでよかったなぁと思いました。
- ・ 現場を見るということは危険性から言っても無理だと思うんですけど、そこをなんとかこう伝えられないかなと、出来上がったところを見て説明するよりもこういうことがあって苦労があって、こういう危険性があるから作らなければならないんだということをやっぱりもっと適切に伝えられたらいいなと、とても強く感じました。
- ・ 床固工群では出来たものと今建設中というものを見られたことは良かったです。

湯沢砂防より

今回のモニター見学会では、竣工後間もなく1年となる登川上流第2号砂防堰堤と、その近郊の砂防工事現場2箇所を見学しました。参加されたモニターの皆様お疲れさまでした。

今回の見学では、堰堤が竣工してひと夏を過ぎた現場がすっかり風景にとけこんでいること、土石流に耐える構造物には地中にしっかりした基礎が入っていることなど、砂防工事の実際を時間と空間の両面から感じ取っていただけたのではないのでしょうか。

女性モニターの現地見学は今回で最後、次回は1月以降に1年のまとめの意見交換会を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

お問い合わせ 949-6102 南魚沼郡湯沢町大字神立23 国土交通省 湯沢砂防事務所 調査課 (025-784-2073) まで